



高等部 現場実習

6月11日(月)～22日(金)まで、高等部3年生は前期現場実習でした(他日の生徒もいます)。卒業後の進路決定に向けて、39人の生徒がそれぞれの実習先で仕事を体験しました。「現場実習」では、これまでの「作業学習」「校内作業実習(1年)」「企業内作業学習(1、2年)」で身に付けてきた働くことに対する態度や技能が、実際の仕事現場で発揮することができるかを確認します。そして、その仕事が自分に合っているかどうかの適性や能力を見る最終的な体験の機会となります。

私は、20日に「COLOR WORK」と「心音ケアセンター土岐」に行き、生徒の様子を見てきました。「COLOR WORK」では、生徒の個性をよく理解していただきながら、真剣な表情でコーヒーの焙煎を行っていました。「心音ケアセンター土岐」では、老人の方と会話しながら、髪をシャンプーしたりドライヤーで乾かしたりする仕事を行っていました。老人の方に笑顔で接している姿が印象的でした。以下、実習先を紹介します。

麦の里、はだし工房共同作業所、なごみの杜かさほら、アルムの家、けやき、けやき可児、けやきカレッジ、東濃ワークキャンパス、COLOR WORK、クローバ工房、ライフスタイルシティ、ニッチ、ウェル協和、寺子屋、TOTOウォシュレット土岐工場、大東亜窯業、東海西濃運輸、シンセン、太陽社電気、大松フード笠原店、株式会社生活の木、心音ケアセンター瑞浪、心音ケアセンター土岐、AOKI春日井オフィス 等

「日本理化学工業」というチョークを作っている会社があります。全社員85人中、63人が知的障がい者の会社で、マスコミなどでも取り上げられることが多いので、知ってみえる方もあるかもしれません。その会社の会長の大山泰弘さんは、ある和尚さんから、人の幸せは、「人に愛されること」「人にほめられること」

「人の役に立つこと」「人から必要とされること」の4つであるという話を聞かれたそうです。その話を聞いた大山さんは、この4つは、「働くこと」によって得られるということに気付いたと言っておられます。人は、働くことによって幸せになり、幸せになるために働いているのだ、と思います。



